



地域循環型経済を目指して

謹賀新年

▲“縁起干支盃”——写真中央の盃を新年互礼会で「巳年生まれ」の方に贈呈

今年は「巳」年です

2025年の干支は「乙巳^{きのとみ}」です。「乙」はしなやかに伸びる草木で、これから成長していく状態を表します。そして「巳（蛇）」は、変化と脱皮を象徴し、困難を乗り越え、新たな始まりを迎える年とされています。ビジネスの現場でも、新しい挑戦が成長に結びつく年になるでしょう。舞鶴商工会議所では、会員事業所の皆様の成長を支え、地域の発展を共に築くため、引き続き全力でサポートしてまいります。

目次

新年のごあいさつ	2~7
舞鶴商工会議所 会頭	
日本商工会議所 会頭	
舞鶴市長	
京都府知事	
舞鶴商工会議所 役員、議員、顧問	
部会長、委員長、青年部、女性会	
「ウェブとSNSを活用した 人材確保セミナー」のご案内	8
近畿能開大京都校 入学試験・ポリテックビジョンのご案内	
政策提言委員会 メタネーションの取り組みを視察	9
「事業計画策定セミナー」、「創業サロン」の開催報告	
インフォメーション	10

令和7年 年頭あいさつ

地域循環型経済の構築へ

舞鶴商工会議所
会 頭 小 西 剛

新年あけましておめでとうございます。

令和7年の新春を迎えるにあたり、謹んでお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス禍の収束に伴い、国内経済は深刻な状況から少しずつ抜け出しつつあるものの、ウクライナ情勢や、中東パレスチナ情勢の長期化など、国際情勢が日本の経済に大きな影響を与えました。

市内の事業所においては、人口減少と超高齢社会が進行する中で、人手不足の深刻化や、エネルギーや原材料価格の高騰が事業活動を圧迫し、引き続き、厳しい経営環境が続く一年でありました。

そのような中、10月の本市の高野由里工場用地へのアイリスオーヤマ株式会社の飲料水製造工場の進出決定は、地域にとって明るいニュースでありました。将来的には、京都舞鶴港を活用し、中国、韓国など対岸諸国への輸出を視野に入れ、今後300億円を投資される予定で、このような多額の投資が地域内に行われることを大いに歓迎するものであります。

また、11月には関西電力の舞鶴火力発電所で排出される二酸化炭素を回収し、低温液化状態で北海道へ海上輸送するCCS実験プラントが竣工し、液化CO2輸送船が舞鶴・苫小牧間を往復する実証試験が本格的にスタートしました。

このような地域に対する大型の投資や、カーボンニュートラル社会の実現に向けた先進的な取り組みが行われていることを大変喜ばしく思っているところであり、今後も地域への様々な投資が続くことを願っております。

時代の変化のスピードが加速する中、今後の人口減少による商圈の縮小にブレーキをかけ、稼げる地域に変容していくためには、地域内外からの投資促進とあわせて、地域内に入ってきたお金を地域内で回すことのできる地域循環型経済を構築することが必要であ

り、そのための軸となる産業を育てなければなりません。

舞鶴が目指すべき方向性としましては、かねてより訴えている「日本海側唯一の海洋産業都市」「次世代エネルギー産業都市」、この2つが主軸となるものと考えており、「海洋産業都市」としては、海上自衛隊や海上保安庁との連携、造船技術を活かした新分野の取り組みが大切です。また、「次世代エネルギー産業都市」に向けては、水素、アンモニアなどの次世代エネルギー産業の誘致や、脱炭素化に向けた港湾振興の取り組みを進める必要があります。

さらに、急速な人口減少に直面している今、地域経済を活性化させるためには、稼げる産業の育成とあわせて、人材を引き付ける良質な雇用の創出が大切であるといわれています。

昨年スタートした産業支援プラットフォームをベースに、行政、金融機関、支援機関が緊密に連携し、地域の人材育成への投資を含め、地域の経済循環強化に資する取り組みを進めていきたいと考えているところです。

舞鶴商工会議所は、引き続き、舞鶴市をはじめ国・府や、関係機関、諸団体との強固な連携のもと、諸課題に取り組んでまいりますので、皆様の一層のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

結びにあたり、舞鶴のさらなる発展と会員企業のご繁栄、並びに皆様方の今後ますますのご健勝、ご多幸を祈念し、年頭のごあいさつとさせていただきます。



2025年 小林会頭・年頭所感

— 新たな成長への
飛躍の年に —日本商工会議所
会 頭 小 林 健

明けましておめでとうございます。

2025年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

さて、昨年は内外ともに不透明かつ混迷の度合いが深まった1年でした。世界ではロシアによるウクライナ侵略の長期化に加え、中東情勢の悪化など、地政学的リスクが拡大しました。また、経済面では米国経済が堅調さを維持する一方で、中国経済の停滞が懸念される年になりました。加えて、昨年は主要国で選挙が相次ぎ、米国では4年ぶりにトランプ氏が次期大統領に就任する結果となり、保護主義や自国第一主義の台頭に対する懸念が再び高まっています。

国内に目を転じますと、1月の能登半島地震や9月の奥能登豪雨といった痛ましい災害に見舞われた1年でありました。また、秋の衆院選では与党が30年ぶりに過半数を大きく下回り、少数与党へ転じるなど政治的変動が生じる一方で、経済では、歴史的円安や物価高が続く中、設備投資は好調で日経平均株価も史上初の4万円台を記録しました。日本銀行はマイナス金利の解除に踏み切るなど、金融政策にも大きな転換点が訪れました。特に昨年は「賃上げ」をテーマとした1年でもあり、中小企業の賃上げ率も3%台半ばに達するなど、物価と賃金の好循環に向けた大きな一歩を踏み出した1年であったと総括できます。企業の自助努力とともに、官民を挙げた価格転嫁の取り組みが効果を示した結果ではありますが、賃上げを行った中小企業の約6割が収益改善を伴わない中で、人手確保のための防衛的賃上げを迫られたことも事実です。賃上げのモメンタムをいかに持続可能な形に転換するかが、停滞から成長のステージに向けた今年の大きな課題となります。

成長の両輪は中小企業の強化と地方創生

日本は経済立国であり、経済成長なくして将来はありません。デフレ脱却を確実にし、成長型経済への転換を進めるためには、GDPの6割を占める個人消費の拡大が不可欠です。その実現は、全企業数の99.7%、就業人口の約7割、地方部では約9割を担う中小企業・小規模事業者の生産性向上と持続的な賃上げにかかっていると、いっても過言ではありません。成長の両輪の一つは中小

企業であり、そのデジタル化、省力化投資を含めた設備投資、技術革新、知的財産の活用・保護といった生産性向上への不断の努力と自己変革によって付加価値を高め、賃上げ原資を生み出す必要があります。われわれ商工会議所は本年もこうした前向きな挑戦を続ける中小企業を全力で支援してまいります。また、労務費を含む価格転嫁対策のさらなる推進やBtoCでは企業側の「値を上げる勇氣」も必要です。消費者にも「良いサービス、良いモノには値が付く」という認識を持っていただき、国民全体のデフレマインドを払拭することも今年の大きなテーマでありますので、消費者意識の改革とともに経済環境の改善を目指していききたいと思います。

また、成長の両輪のもう一つは「地方創生」です。地方の発展なくして日本の再生はありません。政府、地方自治体、民間が三位一体となり、地域への人材・投資の呼び込みや「稼ぐ産業」の育成、インフラ整備などを通じて地域の経済循環を強化し、地域の強みと潜在力、いわゆる「地域力」を引き上げるべく全力を傾ける年にしなくてはなりません。地域の経済インフラを担う中小企業および小規模事業者の強化は、地方創生の取り組みとも表裏一体です。政府・地方自治体には両者を成長の両輪と位置づけ、地域ごとの特性を踏まえた成長戦略の策定と実行を強く求めたいと思いますし、われわれ全国515の商工会議所も地域経済の再生・活性化の先導役として、さらに活動を強化できる1年にしなくてはなりません。

大阪・関西万博の成功を大きな成長の弾みに

本年4月には大阪・関西万博が開幕いたします。停滞から成長への転換点にあるタイミングでの開催は、象徴的かつ歓迎すべきことであります。「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする20年ぶりの万博開催が、新たな未来をつくる起爆剤となるよう、全国の商工会議所一丸となって盛り上げてまいりましょう。わが国全体の未来に向けて成長に弾みのつく万博となることを切に願い、皆さまの一層のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。



令和7年 年頭のごあいさつ



舞鶴市長
鴨田 秋津

令和7年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は元日から能登半島地震が発生し、舞鶴市でも震度3の揺れを観測したことは記憶に新しいところです。改めまして、被災されました皆さまに心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を願ってやみません。

さて、舞鶴市におきましては、人と人との「つながり」で発展と飛躍の年とするべく新たな一年を迎えました。私は常々「舞鶴市の未来は市民の声の中にある」と考えており、就任1年目の令和5年は市民の皆さまの声にしっかりと耳を傾け、本当に市としてやるべき施策は何かを考え、その実現に向けた準備を進めてまいりました。

そうして迎えた令和6年は「こどもまんなか」をまちづくり政策の中心に位置付け、学校給食費無償化のうち、まずは中学校給食費の無償化、子育て支援医療費助成制度の対象年齢の拡大による子育て世帯の負担軽減、中総合会館へのこども家庭センター新設による子育て支援体制の強化など、子育て環境の充実を進めてきました。

これらの施策は、舞鶴市の未来を担う子どもや若者が活躍できる環境を整えるとともに、ひいては超高齢社会を継続的に支えていくことにつながると考えており、持続可能なまちづくりに寄与する取り組みとして全力を挙げて推進してまいります。

市民の皆さまやまちの動きに目を向けますと、4月には2年目となるMAIZURU PLAYBACK FES.2024が2日間にわたって開催されました。会場となった舞鶴西港だけでなく、まち全体に大きなにぎわいをもたらしたこのイベントは今年も開催が決定しており、舞鶴市としてもしっかりと連携し、さらなる盛り上がり全国から訪れる観客の満足度向上につなげたいと考えております。

7月から8月にかけて開催されたパリオリンピックでは、本市出身の井上愛里沙選手が女子バレーボール競技に出場され、中総合会館で開催したパブリックビューイングには、連日100人を超える人が応援に駆け付けました。オリンピック後に井上選手にお会いした際の「多くの人に支えていただいた。皆さんの応援が力になった」というコメントが心に強く残っています。

令和6年は、活躍された選手はもとより選手を育てる指導者にもスポットを当て、後進の指導育成やスポーツの普及に貢献されてきた人の表彰制度を新設したところ

であり、引き続きスポーツの力で元気なまちを目指します。

9月には赤れんがパーク周辺のにぎわい創出の一環として、旧文庫山施設跡地に複合商業施設「atick」がオープンしました。民間の活力が地域全体の活性化に大きく貢献し、舞鶴市の新たなにぎわいスポットとして市内外から多くの人々に訪れていただいています。

また10月には、高野由里工場用地にアイリスオーヤマ株式会社の飲料水工場の進出が決まりました。市民が待ち望んだ企業誘致によって、新たな産業の循環や雇用の創出による地域経済の活性化が期待されるとともに、立地決定にあわせて災害発生時の支援体制強化を目的とした防災協定を締結しており、防災力の強化にも寄与いただくこととなっております。

私自身、昨年は地域や団体が実施されるさまざまな行事に参加する機会をいただきました。現地へ足を運び、活躍する人たちを目にするたびに、人と人とのつながりが地域や社会を支え、まちの活力の基盤となっていることを実感しました。こうした取り組みが連鎖と続いていることが「未来への希望」であり、舞鶴市の底力です。

さて、新たに迎えた令和7年は、市役所において、さらなるデジタル化の推進、時差出勤制度や在宅勤務制度の実施、メンタルヘルスケア、ハラスメント対策といった「働き方改革」を強力に推し進め「日本一働きやすい市役所」を目指してまいります。職員の労働環境の改善や働き方改革を迅速に進めることは、より質の高い行政サービスの提供につながると考えています。

また、終戦・海外引き揚げ開始から80年を迎えます。「引き揚げのまち舞鶴」として、引き揚げの史実継承と恒久平和を次世代へ伝えるため、未来に向けたさまざまな取り組みを計画しています。4月から開催される大阪・関西万博の関西パビリオンでは「いのち」の分野で引き揚げの資料などを出展し、国内外へ発信することとしており、体験者なき戦後の始まりの中で「次世代への継承から、次世代による継承へ」と着実に歩みを進めてまいります。

希望が持てる舞鶴市を創るために強い使命感と覚悟を持って、市民の皆さまとの対話を大切にしながら、舞鶴市を前に進めてまいりますので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

この一年が皆さまにとって、また舞鶴市にとって、発展と飛躍の年となり、未来に希望が持てる活力あるまちに近づくことを祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

知事年頭のごあいさつ

京都から

いのち輝く未来を切り拓く

京都府知事
西脇 隆俊

明けましておめでとうございます。府民の皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、元日に能登半島地震が発生し、8月には初めて南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表されました。改めて「危機管理」がいかに行政における根幹的な役割であるか、ということを感じた一年であり、新しく整備した常設の危機管理センターを拠点として、全ての営みの土台となる府民の皆さまの安心・安全の確保に全力で取り組んでまいります。

一方で、昨年は府立植物園や京都丹後鉄道・宮津線が100周年を迎えるとともに、国内最大規模の国際スタートアップカンファレンス「IVS」を2年連続で京都で盛大に開催し、次の100年に向けて多様な価値を生み出していく新たな一歩となった一年でもありました。

「万巻の書を読み、万里の道を往く」。これは「最後の文人画家」と称された富岡鉄斎の座右の銘です。書物を読み各地を巡って多くの事象に触れることを実践した彼は、その経験の中から多様な価値を見出しました。都として交流の中心地であった京都には、鉄斎の

ような人々や文物が行き交い、そうした交流の中から人々の心の発露が文化という価値となって、京都から各地へもたらされました。新しい価値は絶え間のない交流から生まれます。文化庁とも手を携えつつ府内各地の多彩な文化の掘り起こしや磨き上げを行い、京都が守ってきた「人のつながり」を大切に、誰もが未来に夢や希望を持てる「あたたかい京都づくり」をさらに進めてまいります。

さあ、いよいよ大阪・関西万博が開幕します。日本における最初の博覧会が1871年にここ京都で開かれて以来一世紀半。今も昔もイノベーションが京都で生まれ続けているのは、技術の進歩を人々の幸せに結び付ける文化と心根が京都に息づいているからにほかなりません。今こそ私たちが大切に受け継いできた「継承」と「創造」の精神で新しい価値を生み出し、世界の人々を府内各地へいざない、大きな交流をつくり出すことで、京都からいのち輝く未来を切り拓きたいと考えております。

今年は、再生と変化を象徴する巳年。時流を柔軟に捉え、努力を重ねながら、皆さまと共に進んでまいり所存です。今年一年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。



謹んで新年のごあいさつを申し上げます

役員・議員・顧問(順不同・敬称略)

【会 頭】

小西 剛 小西商事(株)

【副会頭】

今安 茂也 (株)イマヤス
一盛 広樹 日本海警備保障(株)
芦生 達夫 日本通運(株)舞鶴支店

【専務理事】

小谷 裕司

【監 事】

塩見 邦夫 (株)シオミ
川端 隆一 公認会計士川端隆一事務所

【常議員】

高井 盛作 (株)コザイ印刷所
志摩 敏樹 志摩機械(株)
嵯峨根仁史 弥栄電設工業(株)
植本 浩明 上杉教育機器(株)
宮本 修吾 (株)エヌエスケイ
佐古田政彰 (株)佐古田電機
安原 良一 京栄電材(株)
坂根 功一 (株)坂根工務店
田中 正明 (株)田中製作所
田中 信男 舞鶴水産流通(協)
江守鍊太郎 江守石油(株)
久下 幸典 (有)幾久鶴
土井 博司 土井油糧(株)
西村 直紘 (株)西村住建商事
北野 裕介 カナデビア(株)舞鶴工場
藤原 英樹 (株)藤善
久保 勝 舞鶴倉庫(株)
才田 幸久 関西電力(株)京都支社

野邊 修邦 日本板硝子(株)舞鶴事業所
松尾 信一 京都府漁業(協)
山口 圭輔 新日本海フェリー(株)舞鶴支店
公文 一徳 京都北都信用金庫
岩元 直樹 ケンコーマヨネーズ(株)西日本工場
保田 幸治 ジャパンマリノユナイテッド(株)舞鶴事業所

【議 員】

上野 晋 (株)上野総合保険センター
廣瀬 久哲 HRS総合研究所
北川 嘉嗣 (株)エール
大滝 雄介 (株)大滝工務店
齋藤 友幸 (株)霞月
川上 英明 (株)カワカミハウジング
河田 友宏 河田産業(株)
本間 憲 KANSAI税理士法人舞鶴事務所
安原真智子 (株)京栄電工
仲野 東 京都府信用漁業(協)連合会
和久 輝幸 (一社)京都舞鶴港振興会
谷川 眞司 (株)共和堂
林 哲生 キリンビバレッジ(株)近畿圏支社京滋営業部
三輪 正和 三和工業用品(株)
柿野 剛清 (株)田中工務店
岸田 哲弥 田中産業(株)
中田 芳邦 (株)中田アルナ
西村寿美子 (株)西村紙油商事
辻原 健二 (株)ニューオーサカホテルエンタープライズ
田中 久晶 (株)パシフィックウエーブ
浅野 泰雄 (株)フクヤ
細井 正敏 細井工業(株)
多田 佳史 (株)舞鶴浄美社
眞下 英夫 (株)ましも
伊庭 八郎 丸二金物(有)
元木専太郎 (株)モトキ

小谷 友子 (株)山下金物店
吉田 洋平 吉田工業(株)
松本 芳弘 (株)アート
杉森 寿幸 アクサ生命保険(株)福知山営業所舞鶴分室
波多野達也 飯野港運(株)
上原 正夫 上原正夫税理士事務所
志摩幹一郎 (株)ウッディーハウス
友成 竜治 御台所セバル
吉永 豊一 (株)京都イングス舞鶴本店
鍋師 重則 (株)京綾貨物輸送
小山 剛 (株)こやま
尾関 善之 タイヨー電化
竹田 喜芳 タケダ工芸(株)
久富 慶亮 鶴美建設(株)
林 博之 (有)ハヤシスポーツ
松井 恭子 (株)東舞鶴グランドホテル
西 寛 (株)平和熔工所
堀口 宏之 (株)ホリグチ
高野 真一 舞鶴かまぼこ(協)
藤元 裕泰 舞鶴さかなセンター(協)
松本 泰 (株)舞鶴市民新聞社
三方 圭一 (株)舞鶴ホンダ
福長 尚斉 (株)丸福産業
江波 明 (株)エナミ精機

【名誉議員】

田中 康弘 元副会頭

【顧 問】

鴨田 秋津 舞鶴市長
肝付 隆治 舞鶴市議会議長
池田 正義 京都府議会議員
小原 舞 京都府議会議員

〔部会長〕

機械金属部会

田中正明

企業環境はますます厳しくなる予想の中、「力を合わせて受注」と言う形での方策を探っていくことも必要かも知れません。部会員企業が笑顔になれる年であることを期待します。

建設部会

坂根功一

本年は巳年です。蛇は金運など運気を上げる縁起物とされてきました。私も還暦を迎える年男として頑張っておりまますので会員諸兄のご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

製造部会

小山剛

舞鶴市における経済状況は、決して良いとは言えませんが、前向きに今がチャンスと捉えられるよう、考え行動してまいります。皆様のご協力をお願いいたします。

商業部会

久下幸典

「ネットショップ勉強会」で市外からの外貨獲得を支援し、「地域ペイ」で商業界の活性化を目指します。

情報サービス部会

松本泰

各種勉強会の開催等を通して部会員の皆様と共に励み、舞鶴の発展につなげていけるよう取り組んでまいります。よろしくお願いいたします。

交通運輸・港湾部会

久保勝

景気はゆるやかな回復基調にて推移しておりますが、人手不足、物価高騰等厳しい経営環境が続きます。充実した部会活動に努め、地域経済の発展に取り組んでまいります。

食料品・水産部会

田中信男

今年は巳年、へびは脱皮をして成長していくことから、再生や生命力の象徴だそうです。水産業や地域の活性化を目標に、本年も一層の努力、精進をしております。

金融・理財部会

公文一徳

私たちは地域活性化のコーディネーターとして、地域経済の成長と持続可能で活力あるまちづくりの実現に向け取り組んでまいります。本年もよろしくお願いいたします。

料理飲食部会

松井恭子

飲食業界において原材料やエネルギー価格の高騰、人材不足も続いて依然厳しい状況となっております。AIを活用し観光客への対応や時代の変化に応じた経営スタイルを構築しましょう。

環境サービス部会

福長尚斉

本年も部会事業を充実し、部会の活性化につながる運営に努めてまいります。会員の皆様のご指導ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。

〔委員長〕

総務委員会

嵯峨根仁史

今年は巳年、神様の使いとして大切にされてきた動物で脱皮を繰り返すことから不老不死の象徴として奉られています。舞鶴を明るい希望に満ちた元気な街に脱皮しましょう！！

政策提言委員会

植本浩明

引き続き、政策提言の検証を行い、ブラッシュアップを進めるとともにその具現化に向けて活動してまいります。皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

産業振興委員会

田中正明

人口減少の流れの中で、地域経済の振興が急務です。従来の企業活動に加え、新規受注、新分野進出を目指すには、異業種間連携も必要です。枠に囚われない活動を目指します。

観光振興委員会

高井盛作

昨年は市内観光施設への来場者数が低調に推移する中、客数増減が2極化する結果となりました。今後は観光資源を更に磨き上げ持続可能な観光を推進していきたいと願っております。

自衛隊委員会

安原良一

安全保障環境が大きく変化し、国を守る体制も変わろうとしています。海上自衛隊との良好な関係を維持し、共存共栄のもと、地域産業の活性化に取り組みます。

会員サービス委員会

久下幸典

従業員への感謝と期待を込めて「永年勤続優良従業員表彰」をご活用ください。勤続5年・10年・20年・30年の方が対象です。

青年部

嵯峨根隆史

本年は45周年を迎える節目の年になります。少子高齢化を乗り越え、地域経済の発展と当青年部会員の飛躍を目指し、共に挑戦を続けてまいります。未来を切り拓きましょう。

女性会

松井恭子

京都府商工会議所女性会連合会全体事業を舞鶴で開催し、会員皆様のお力添えで無事終える事が出来ました。今後も活動の原動力となるよう会員増強と会員維持に努力してまいります。

ウェブとSNSを活用した 人材確保セミナーを開催します ～デジタルマーケティング手法を取り入れ人材獲得へ～

「求人を出しても応募がない」「限られた予算や時間の中で効果的に人材を確保したい」と考える事業所向けのセミナーです。

ウェブサイトとSNSの活用により、コストを抑えながら適切なターゲット層へアプローチし、競争の激しい採用市場での競争力を強化する方法を紹介します。

本セミナーでは、IT知識ゼロからでも取り組めるデジタルマーケティング手法を取り入れ、実践的なノウハウについて解説します。

日時 2月19日(水) 午後1時30分～3時30分

場所 舞鶴商工会議所

定員 20人(先着順) **受講料** 無料

講師 リフォーカス(株) 代表取締役 片桐 かほり 氏

主な内容 ・人材確保の現状と課題

- ・人材確保におけるブランディング
- ・ウェブサイトの求人ページ作成例
- ・SNSの活用方法と具体的な実践例
- ・ターゲット設定と広告活用

締め切り 2月12日(水)

【申込方法】

同封の申込書に必要事項を記入し、Fax(62-4933)か直接窓口でお申し込みください。舞鶴商工会議所のホームページまたは右のQRコードからも可能。



申込用
QRコード

〇問い合わせ 舞鶴商工会議所 (Tel 62-4600)

課題解決! 専門家相談会を開催中

～従業員の確保や定着でお困りではありませんか?～

経営の悩みや課題などについて幅広い分野の専門家による相談会が舞鶴商工会議所で開催されます。専門的な相談から経営全般まで対応可能です。相談料は無料ですので、事業所の課題解決の一助としてぜひご活用ください。

場所 舞鶴商工会議所 **相談料** 無料

申し込み 電話でご連絡ください。

舞鶴商工会議所 Tel 62-4600

(京都府よろず支援拠点については直接ご連絡ください)

相談時間 調整し、お知らせします。

主な相談受付内容	開催日時	対応機関
小規模・中小企業の採用と定着、 新商品開発(※1) 1相談 50分	1月16日(木) 午後1時～4時50分	京都府よろず支援拠点 Tel:075-315-1055
経営全般 補助金申請 1相談 1時間	1月23日(木) 午後1時～5時	京都府中小企業診断協会
IT化、EC、補助金申請 1相談 1時間	2月13日(木) 午後1時～5時	京都府中小企業診断協会
法務相談・契約書・廃業(※2) 1相談 50分	2月20日(木) 午後1時～4時50分	京都府よろず支援拠点 Tel:075-315-1055

(※1) 小規模・中小企業の採用と定着、新商品開発(中小企業診断士: 三木 壽氏)

ものづくりと組織や人材に関する経験と知識を活かして、現場・現物・現実を起点とした経営のサポートを行っている。デザイン経営やビジネスモデルキャンバスなどを用いて、顧客目線をふまえたアドバイスを行う。

(※2) 法務相談・契約書・廃業(中小企業診断士・弁護士: 大久保 享 氏)

弁護士として、日々、中小企業や小規模事業者をサポートし、紛争や課題の解決に取り組んでいる。契約書のほか、知財、労務問題や廃業など、経営のわかる法務の専門家として、経営上の様々な法務に関する問題について、わかりやすくアドバイスを行う。

近畿能開大京都校 入学試験情報とポリテックビジョンのご案内

未来の「ものづくり」を担う実践技術者を育成する近畿能開大京都校で今後実施される「入試情報」と学びの成果を披露する「ポリテックビジョン」の案内です。科学技術の基礎から応用力までを磨き、進化する技術革新に挑む第一歩を、ここから始めてみませんか。ものづくりに興味のある方々へぜひともご案内ください。

令和7年度(4月入校)試験情報

試験日 2月6日(木)

会場 近畿能開大京都校(舞鶴市上安1922)

〇一般入試

試験科目 数学Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅰ

募集科 生産機械技術科、電子情報技術科

〇自己推薦入試

試験科目 数学Ⅰ、面接

募集科 生産機械技術科、電子情報技術科

〇デュアルシステム入試

試験科目 数学Ⅰ、面接

募集科 デジタルサポートシステム科

※入試情報の詳細は右のQRから確認できます。



入試情報は
こちら

ポリテックビジョンin舞鶴 2025

開催日 2月14日(金) 9:00～16:00

2月15日(土) 9:15～15:45

場所 近畿能開大京都校(舞鶴市上安1922)

〇問い合わせ 近畿能開大京都校 学務援助課 (Tel 75-7609)

政策提言委員会**メタネーションの取り組みを視察**

当所が取りまとめた政策提言の「次世代エネルギー産業都市」に向けた取り組みの一つとして、政策提言委員会（植本浩明委員長：上杉教育機器㈱代表取締役社長）によるカナデビア㈱築港工場の視察が12月13日に実施されました。委員のほか、小西会頭と今安・芦生副会頭など役員を含めて、9人が参加。二酸化炭素と水素から都市ガス原料の主成分であるメタンガスを生成するメタネーション装置の説明を受けました。

近年、二酸化炭素を資源として捉えて有効活用するカーボンリサイクルの取り組みが進められているなか、同社の先端技術に触れ、新たなエネルギー産業に

関する知識を深めました。



左奥が社会実装用のメタネーション装置
(12月13日：カナデビア㈱築港工場)

「事業計画策定セミナー」を開催**～会社を成長させる
計画書の作り方を学ぶ～**

自社の存在意義や解消すべき課題を考えながら、会社を成長させていくための事業計画の作り方を学ぶ「事業計画策定セミナー」を12月4日に開催し、6人が受講されました。

講師は、中小企業診断士の上田実千代氏（㈲オフィスウエダ代表取締役）が務め、事業計画書の役割や作成のメリットから、マーケティング戦略の考え方やSWOT（強み・弱み・機会・脅威）分析で自社を取り巻く経営環境について把握する方法まで説明いただきました。

上田講師は、「事業計画書を作成すると、事業の全体像が明確になり、客観的な分析ができるようになる。自社が目指す理想像や将来像をイメージし、それを実現するために必要となるプランを書き出していくことが大事である」「出来上がった事業計画書は、従業員

と共有することで、皆が一丸となって事業に取り組むことができる」と計画策定の重要性を話されました。

講座の最後に「3年後の会社経営」について、受講者それぞれが自社の将来像をイメージしながら、1年ごとに、取り組むべき課題を考え、事業計画書を作成しました。



事業計画書の重要性について学ぶ受講者
(12月4日：舞鶴商工会議所)

**「創業サロン」を開催しました
創業を志す方々のための交流イベント**

創業に興味のある方を対象とした「創業サロン」を12月15日、舞鶴商工会議所で開催し、13人が参加されました。

ゲストに浜地区にある旧丹後瓦斯ビルを全面改装し一昨年4月にオープンした「カフェ GASS」のオーナー、玉川直樹氏をお招きし、創業体験談をお話いただきました。

地元出身の玉川氏は、20年以上ファッション業界に携われ、現在も京都市内で企画や店舗開発に従事されています。玉川氏は、「当店は食事の場だけでなく、ファッションやアート、カルチャーを発信する拠点を目指しています」と話されました。

最後に、玉川氏から参加者へ、「やりたい事業に向

けて、まず一歩を踏み出しましょう。年齢は関係ありません。夢を実現するには“計画”と“行動”が重要です」とアドバイスされました。

参加者は、創業について学び、また、意見交換ができる貴重な機会となりました。



創業体験談を話す玉川氏（正面奥）

INFORMATION

インフォメーション



講師
上智大学
総合グローバル学部教授
前嶋 和弘氏

経済講演会

演題 アメリカの影響を受ける世界、そして日本
～第2次トランプ政権誕生でどうなる経済・安全保障～

日時 2月5日(水) 午後1時30分～3時

会場 舞鶴市商工観光センター 5階コンベンションホール

定員 330人(先着順) **参加料** 無料(事前申込が必要)

申込方法 同封の申込書(チラシ)に氏名等を記入し、Faxか舞鶴商工会議所の窓口でお申し込みください。ホームページ、右のQRコードからも可能。

締め切り 2月3日(月)

問い合わせ 舞鶴商工会議所 Tel 62-4600



優良従業員表彰式 推薦は1月17日まで受け付け

「第71回優良従業員表彰式」の被表彰者の推薦を受け付けています。お申し込みは、舞鶴商工会議所の窓口でお願いします。

日時 2月19日(水) 午前10時～11時

場所 舞鶴商工会議所 ホール

表彰基準 会員事業所で次の要件を満たす人

- 1) 勤続30年、20年以上全力を尽くし職務に取り組み、事業所の発展に大きく貢献した人

- 2) 勤続10年、5年以上誠実に職務に努め、他の従業員の模範となる人

被表彰者区分および事業所負担金

表彰区分	30年以上	20年以上	10年以上	5年以上
負担金額(税込み)	8,000円	6,500円	4,500円	4,500円

締め切り 1月17日(金) 午後5時

表彰について 表彰状と記念品を授与します

問い合わせ 舞鶴商工会議所 Tel 62-4600

令和6(2024)年度 検定試験の日程

〈会場は舞鶴商工会議所〉

〔簿記〕

施行回数	試験日	窓口申込期間	ネット申込期間	級
第169回	2025年 2月23日(日)	1/9(木)～1/24(金)	1/9(木)～1/22(水)	2・3
受験料 2級 5,500円 3級 3,300円				

※簿記検定の申し込みは舞鶴商工会議所までどうぞ。 ※受験料は税込み料金です。

企業を育て地域を伸ばす
商工会議所

中小企業相談所 のご案内

相談無料 秘密厳守

- 金 融……運転資金・設備資金を借りたいとき
- 税 務……税金の計算や青色申告をしたいとき
- 経 理……帳簿のつけ方がわからないとき
- 経 営……経営診断・店舗診断・市場調査など
- 労 働……労働法規・労働保険・社会保険・従業員問題などについて知りたいとき
- その他……創業・事業承継・IT・法律特許・取引の照会など

ご相談は…いつでも何でもどんな時でも、窓口相談・電話相談・集合相談・現地相談

舞鶴商工会議所 Tel 62-4600

お気軽に
ご利用ください

舞鶴商工会議所のホームページ、Instagram、Xは右のQRコードからご覧ください。

発行所・発行人／舞鶴商工会議所 小谷 裕司 〒625-0036 舞鶴市字浜66
Tel 0773-62-4600 Fax 0773-62-4933 URL <https://www.maizuru.or.jp/>
E-mail maizuru@maizuru.or.jp 印刷／株式会社 コザイ印刷所

ホームページは
こちら



Instagramは
こちら



Xは
こちら

